

川中島配水場NO. 1配水ポンプ更新工事

特 記 仕 様 書

令和 7 年度
笛吹市

目 次

	頁
第1章 総 則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第1節 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章 機械設備一般仕様・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第1節 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第2節 工事一般仕様・・・・・・・・・・・・・・・・	4
第3章 機械設備工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
第1節 配水ポンプ設備・・・・・・・・・・・・・・・・	5
第4章 試験および検査・・・・・・・・・・・・・・・・	8
第1節 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
第2節 機械設備機器の試験・・・・・・・・・・・・	9

第1章 総 則

第1節 一般事項

1.1.1 適用範囲

本特記仕様書の適用範囲は、川中島配水場N0.1配水ポンプ更新工事に伴う設備工事に適用するものであり、本仕様書に定めていない事項については監督員との打合せにより決定するものとする。

1.1.2 工事名

川中島配水場N0.1配水ポンプ更新工事

1.1.3 工事場所

笛吹市石和町川中島地内

1.1.4 工期

契約翌日 ～ 令和 8年 3月 19日

1.1.5 法令、条例等の適用、諸官庁への手続き

本工事に関係ある法令、条例等はよくこれを遵守し、関係諸官庁等に対する必要な届出、手続き等は請負者がこれを代行するものとする。

1.1.6 準拠規格

本工事に使用する機器材料は、下記の現行標準規格等に準拠するものとする。ただし、特に指定ある場合はこの限りではない。

- (1) 水道施設設計指針（JWWA-日本水道協会編）
- (2) 日本産業規格（JIS）
- (3) 日本電気規格調査会標準規格（JEC）
- (4) 日本電機工業会標準資料（JEM）
- (5) 日本電線技術委員会標準資料（JCS）
- (6) 電気設備技術基準（経済産業省）
- (7) 内線規程（日本電気技術規格委員会）
- (8) 電気設備工事共通仕様書（国土交通省営繕局監修、営繕協会編）

1.1.7 機器、材料の検査

- (1) 本工事で使用する機器、材料等で本市が検査を要求するものは、請負者はこれに応じること。
- (2) 主要機器のうち本市が指定するものは、受入検査等を行なうこと。

1.1.8 安全衛生管理

- (1) 本工事の施工にあたっては、労働安全衛生に関する法令を遵守し、就業者に対して常に徹底させ災害防止に万全の策を講じること。
- (2) 本場所は公共水道事業所であるので環境衛生には充分注意し、不要の場所には立入らないこと。

1.1.9 試験調整

現場据付工事完了後、監督員立会のもと、各機器設備の単体試験および総合試験を行い、設備全般の機能が完全に発揮できるように調整すること。

1. 1. 10 竣工検査および受渡し

- (1) 本工事の完成にあたっては、関係官公署等の検査後に本市の竣工検査を受けるものとする。なお、竣工検査の際には機器・現場試験の試験成績書を提出すること。
- (2) 竣工検査において指摘事項があった場合は、速やかに改善し、再度検査を受けるものとする。
- (3) 本工事の受渡し期日は、立会試験および竣工検査に合格した後とする。

1. 1. 11 材料保管

本工事竣工までの機器、材料の保管責任は請負者にあるものとする。

1. 1. 12 保証期間

本工事の保証期間は、受渡し完了後2ヶ年とする。保証期間中に、請負者の責任に帰すべき原因による故障が発生した場合、請負者は本市の指定する期間内に取替または修理すること。

1. 1. 13 完成図書

工事完了後下記の図書を整備し、製本のうえ提出すること。

- (1) 施設設備完成図書
- (2) 主要機器取扱説明書
- (3) 工事写真
- (4) 各種機器試験成績表
- (5) 官公署ほか提出書類控
- (6) その他監督員の指示するもの

第2章 機械設備一般仕様

第1節 一般事項

2.1.1 規 則

本工事に使用する機器はJIS・JEM・JEC各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。

2.1.2 単 位

単位はSI単位によること。

2.1.3 付属品

各機器の付属品は、本仕様書に記載されているものの他、請負者において運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

2.1.4 塗装色

塗装色は、原則としてメーカー標準色とする。

2.1.5 周波数

本地区は50Hz地区につき、定格周波数は50Hzとする。

2.1.6 荷造りおよび輸送

荷造りは厳重に施し、防湿処理を完全に行い、天地無用の品にはその旨を明記し、適当な転倒防止の方法を講じること。また、予備品は長期の保存に適すよう必要部分に錆止めを施し、ビニルにて包装または荷造りをして外部には内容・品名・数量を明記し、必要な場合には転倒防止の方法を講じ、保管上の注意事項を付記すること。

2.1.7 製作連絡

他工事と関連のある場合は、他工事の関係者と密接に連絡を保ち、全体として調和のとれたものとする。

第2節 工事一般仕様

2.2.1 機械据付工事

- (1) 機器据付位置、据付方法は既設通りとする。
- (2) 各機器の詳細な据付位置の決定にあたっては監督員と協議し、監督員の承認を得てから据付けること。
- (3) 機器の据付にあたっては、ポンプが水平に据付かるように井戸蓋の水平を調整の上、据付けること。
- (4) 弁類の据付にあたっては、前後の配管と側管の取付等に注意し、水平または垂直に据付けること。

2.2.2 配管工事

- (1) 管の製作加工規格は、日本工業規格(JIS)、日本水道規格協会(JWWA)によること。
- (2) 工事に先立ち管体検査を行い、亀裂その他の欠陥の無いことを確認すること。また、内部は十分清掃を行うこと。
- (3) 管の据付にあたっては、水平器等を使用し中心および高低を確認し、据付けること。
- (4) 管を溶接する場合、溶接部は滑らかに仕上げること。
- (5) 配管は、適宜サポートを取付け施工すること。

第3章 機械設備工事

第1節 配水ポンプ設備

3.1.1 概 要

本工事は既設の配水ポンプが老朽化した為、更新するものである。
また、工事工程表に基づき、監督員と協議を行い給水に支障をきたさない事。

3.1.2 設備機器

(1)配水ポンプ (川中島) 1 台

3.1.3 工事範囲

本工事に含まれる工事範囲は下記の通りとする。

- (1)3.1.4に記載の機器製作
- (2)3.1.4に記載の機器の据付・配管工事
- (3)揚水配管工事
- (4)既設配水ポンプ等については、有価物として処分すること。
(鉄くず故銑0.505 t、鉄くず0.094 t (ヘビーH 1))

処分先、売却金額について、監督員に報告をすること。処分費減算額を工事価格から差引き設計金額の変更を行う。

(5)その他上記に伴う諸工事

3.1.4 機器仕様

- (1)配水ポンプ (小石和)
- | | |
|-------------|-------------------------|
| (A)数 量 | 1台 |
| (B)形 式 | 水中渦巻ポンプ |
| (C)口 径 | 125mm |
| (D)吐 出 量 | 1.39m ³ /min |
| (E)全 揚 程 | 40m |
| (F)回転速度 | 1,500min ⁻¹ |
| (G)電 動 機 | 18.5kW 4P 200V 50Hz |
| (H)付 属 品 | |
| (ア)連成計 | 1式 |
| (イ)圧力スイッチ | 1式 |
| (ウ)その他必要なもの | 1式 |

3.1.5 工事詳細

本工事の範囲は下記とし、詳細は設計書を参照する事。

- | | | |
|---------------|-----|----------|
| (1) ポンプ据付工事 | ×1式 | (配水ポンプ) |
| (2) 配管工事 | ×1式 | (配水ポンプ用) |
| (3) 撤去、産廃処分工事 | ×1式 | |
| ・ 配水ポンプ | ×1式 | |
| (4)その他必要とする工事 | ×1式 | |

第4章 試験および検査

第1節 一般事項

4.1.1 試験

- (1) 機器製作後、次の試験を行う。
 - (A) 工場試験
 - (B) 受渡し試験
- (2) 現場据付・配線工事完了後、次の試験を行う。
 - (A) 配線：絶縁抵抗試験
 - (B) 器具：絶縁抵抗試験・絶縁耐力試験
 - (C) その他運転に必要な試験
- (3) 試験は原則として監督員立会のうえ実施するものとする。
- (4) 試験用器具および試験に必要な一切のものおよびこれに要する消耗品は、すべて請負者の負担とする。
- (5) 試験方法、その他試験の詳細については、協議により決定する。

第2節 機械設備機器の試験

4.2.1 ポンプ

ポンプの試験は、次の項目について行う。

- (1) 準拠規格：JIS-B8301・8302
- (2) 試験項目
 - (A) 吐出量
 - (B) 揚程
 - (C) 回転数
 - (D) 軸動力
 - (E) ポンプ効率
 - (F) 運転状態
 - (G) その他本市の指示するもの